



観音寺こども園 園児たちで創る運動会



子どもは咲く花
～心いっぱい体いっぱい主体的に遊び込む
子どもづくりを目指して～

園内わくわく運動会は、5歳児が中心となり進めました。種目も司会の言葉も自分たちで考えました。その中では、意見が食い違い何度も話し合ったり、試行錯誤しながらみんなでやり遂げ、達成感を味わったりする姿が見られました。予行練習では、小さい子どもたちの親子競技の保護者役も5歳児の子どもが進んで取り組んでいました。1歳児の競技は、フルーツをアンパンマンなど自分の好きなキャラクターまで持って行きます。大人から見れば小さな子どもたちですが、1歳児の子どもたちも、自分で選んで一生懸命に運ぶ姿に、小さい頃から主体性を大切にしていける教育保育の重要性を感じます。

自分の命は自分で守る！ 小さい頃からの安全意識の育成と 一人一人のよさに目が向く優しさづくり



観音寺小学校との合同避難訓練

～津波に備えて小学校3階に避難！ 連携と実体験の大切さ～

毎月行っている避難訓練ですが、12月15日には、コロナ禍で2年間できていなかった隣の観音寺小学校との合同避難訓練を行いました。0～2歳児は小学校まで避難車等で避難し、小学校の先生方にも手伝っていただき、しっかり抱かれて3階まで避難しました。小学校3階には、併せて937名の園児・児童が静かに避難し、一緒に校長先生の話をお聞きしました。実体験の大切さをみんなで感じました。冬休みのお約束は「早寝早起き朝うんち」「朝ご飯を食べる」「自分の命は自分で守る」です。園児なりに普段の生活の中でも安全意識を育てていきたいと思い取り組んでいます。



令和3・4年度 青少年赤十字研究推進校 坂出市立林田小学校



令和3・4年度は、坂出市立林田小学校が青少年赤十字研究推進校として指定されました。同校では、これからの時代を生きる子どもたちに、地域に根ざし、予測できない変化に主体的に向き合い、他者と関わり、折り合いをつけながら生きていく力を付けることに重点を置き、「目標をもち、主体的・協働的に達成を目指す児童の育成 ～気づき、考え、実行する実践的活動を通して～」の研究に取り組んでこられました。

研究主題



目標をもち、主体的・協働的に達成を目指す児童の育成

～気づき、考え、実行する実践的活動を通して～



1年生 「いくぞ!はやしだたんけんたい」



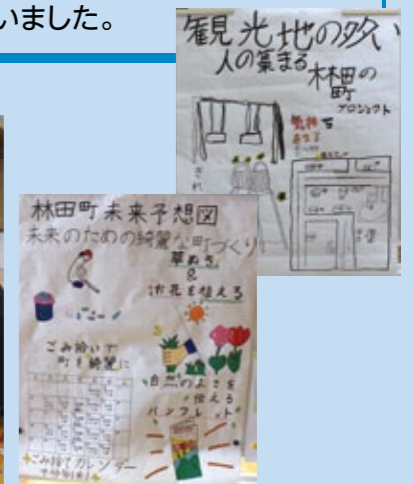
林田探検隊として綾川を探検!
探検中、気になったのは豊かな自然の中にあるゴミ。
(気づき)
「ゴミをなくしたい。」我が町の自然を綺麗に守るには
どうしたら良いんだろう。(考え)
そのゴミをみんなで拾いながら
帰ったよ。(実行する)



6年生 「ふるさと林田の町と、わたしの夢・願い」



「住みたくなる町、林田」をテーマに、住みやすいと思えるところや、すてきだと思えるところはどこかについて考えました。そして「自然が豊かなまち」「便利なまち」「平和なまち」など、理想とする林田のまちづくり像について、どのように実行していけばよいか話し合いました。



4年生 「われら 林田守り隊!」

自分たちで考え、津波を想定し、校内で避難訓練をどのようにしたら安全に学校のみんなが避難ができるか、実行してみました!いろんな気づきがあったよ。
赤十字の大林さんからもらったアドバイスを生かして、もう一度チャレンジしよう!



感謝状が贈られました

研究推進校としての活動に対して、日本赤十字社香川県支部長の感謝状が贈られました。この感謝状は、毎年、発表校に敬意を表し、賛助奉仕団の横山顧問が気持ちを込めて全文を毛筆で手書きしているものです。



救援金の受贈



研究発表会に合わせて、地域で募金活動をしました。そして当日、ウクライナ人道危機救援金の受贈式を行いました。

児童たちが大切にしたのは、募金額ではなく、「何のために募金をしているのか」を地域の方々にきちんと説明できたことでした。

この度の人道危機で困っている全ての人の役に立てていただきたいからと児童たちが私達にも説明してくれました。

